

越後三山 その① [編集する](#)

2011年07月22日 00:59 [友人の友人まで公開](#)

6 view



《写真1》越後駒ヶ岳(魚沼駒ヶ岳)



《写真2》中ノ岳



《写真3》八海山

(→わかりにくい写真ですみません 🙇)

この3つの山を称して「越後三山」💡

3連休は、2ヵ月半ぶりの山に行ってきたわけですが、正直、ここまで歩き甲斐のある山だとは、想定外でした 😞 (→すなわち、下調べ不足でした。これがまず大きな反省 💧)

👤メンバー: デイダラさん、HEBAさん、shifonさん、&ww

前夜、🚗越後湯沢駅にて拾ってもらい🚗、大倉の森林公園駐車場にて仮眠。HEBAさんのおニューのテント、快適でした ✨

【7月16日(土)】

4:00 出発。

歩き始めは川沿いの登山道。山が始まる～、そんな気分👉👉👉。

川沿いルートの後半、地図上にはボックスカルバート(=ボックス型の鉄筋コンクリート構造物で、ここが通路になる)との記載があったが、この時期はそこを通らずとも一般の登山道を歩ける(→というより雪渓で入口がふさがれていてというのが正解!?)。また、一部、雪渓が丘のようになって登山道を塞いでいたが、この雪渓の丘も慎重に歩いて超えれば、特に問題なし👌

5:00-5:30 十二平 (朝食🍱)

ここが最後の水場💧でもあり、登山口に湧水はあるが、あまり流れ出てはいない…。



デイダラさんが草を抜き、土を掘り起こすと、湧水は滾々と流れ出てきたが、それでも時期によっては、いずれは涸れてしまうかも? (→涸れた場合の水汲みは、川まで降りるのもアリでしょう💡)

この登山口に入ると、かなり傾斜のある急登が始まる。



登山道ははっきりしているが、それほど多くの人が歩いている様子には思えない、なかなかシビアなルート。山頂までの標高差は約 1600m...👁👁

ずっと樹林帯の中だが、標高 1300m 付近で眺望の良い場所があり、



八海山を一望。今日、明日とかけて、ぐるっとあの山まで周るのだと実感。アップダウンもあるねえ。

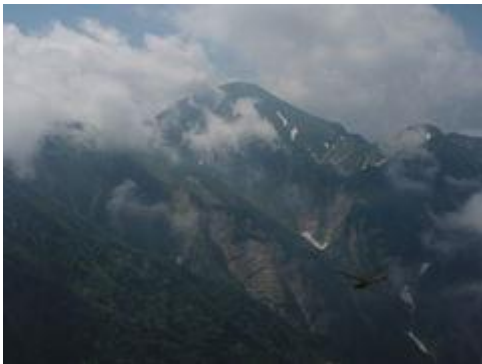
その後もまだまだ登りは続き、しかも暑さは増す一方。「我忘峰まで行けば、あとは飛ぶように歩ける👆」というデイダラさんの言葉を信じ、ただただ必死に登って、登って、登って、登ったら...

10:15 我忘峰。



(→この朽ちかけた木が、おそらく我忘峰の目印のはず!?)

確かに今までの樹林帯とは打って変わって、我を忘れるほどの(!?)、素晴らしい展望が待っていたのであり
ました✨



(撮ったら偶然、トンボも写ってくれたよ。)

この辺りから高山植物たちも登場、山全体が明るくなるが、遮るものが少なくなった分だけ、

暑い💧

(というより、熱い。。。👇👇👇)

そんなときに現れた雪渓は、まさにオアシス。みんなで大はしゃぎ。元気をもらい、ふたたび山頂目指して
出発!! 🏔️🏔️🏔️



(→元気がなって再び登り始め、振り返って見下ろした雪渓。)

中ノ岳分岐に到着してからは、荷物を置いて軽身で山頂へ!!



ニッコウキスゲを筆頭に、色とりどりのお花畑の中、足取りも軽い。そして

12:05 越後駒ヶ岳、登頂～!! 🌄



(→ちょっと中途半端なポーズでした🙄)

実は入山前には、駒ヶ岳に 12 時までには到着できなければ、中ノ岳には進むべきではないと話していたが、
ほぼ 12 時に到着ということで、予定どおりバンザイ!!👍 ここからさらに先に進もう!!🏃👉

というわけで、駒ヶ岳の次なるターゲットは、中ノ岳。

駒ヶ岳から天狗平までは下りが続き、その後登り返しが始まると、檜廊下と呼ばれる一帯に着く。一部登山道が崩れかけていたところもあったが、



枝につかまりながら慎重に歩けば問題はない。

そして、この辺りから…。

ワタクシ ww は、急激に暑さにやられたのでありました…😓 ただただ歩かされていた気分で歩いていた。記録も曖昧。写真も曖昧。身体が熱を持ち始めたのも感じ、休憩時間にてばたんきゅー…🏠👇

しかし、休憩場所から一足先の様子を見てきてくれたデイダラさんが、雪渓があることを教えてくれ、何かに憑かれたように歩き始めた。水を求める河童だと言われようが、何と言われようが、雪渓、雪渓、雪渓…。

ヽ(´ ▽ `)ノ ワーイ

またまた恵みの雪渓では、バリバリ雪をほおばり、ペットボトルの中に雪を詰め込み、気力回復。目が覚めた👆

ここからは、ゆっくりゆっくり歩かせてもらい、どうにかこうにかして、本日の宿、中ノ岳避難小屋にたどり着いたのであります～🏠(17:10)

避難小屋の先客は5～6名。我々4名は2階を使わせてもらう。寝床の場所だけ目星をつけたら、ひとまずここに荷物を置き、さらに最後の気力を振り絞って歩いた先に



中ノ岳山頂。今日も一日、長かった～。お疲れ様でした～～～😓

そして最後にもう 1 枚。



デイダラさんが今年 5 月に達成した、雨巻山登頂 1000 回記念を祝して、「1000」のポーズです。

え!? お揃いの T シャツ!? そりゃあ、もう、チームですから(笑)😓

【山小屋情報】

2 階建ての避難小屋。天水あり。小屋付近に雪渓あり。

小屋前はテントも数張りは可能。トイレは小屋内にあり(2 つ星)。

【行動時間】

4:00 森林公園

5:00-5:30 十二平 (朝食)

6:10-6:15 雪見の松(二合目)

7:05-7:15 休憩

7:45 カ水(三合目)

8:10 眺望よし(ここが人松??)

(これ以後、休憩を数回はさみ)

10:15-10:25 我忘峰

11:00?? クシガハナ

11:25-11:35 雪溪

11:45 中ノ岳分岐

12:00-12:10 越後駒ヶ岳

12:25-12:30 中ノ岳分岐

13:15 天狗平

(この辺りから記録なし)

(途中、雪溪で45分休憩あり)

16:30 四合目

17:10-17:15 中ノ岳避難小屋

17:20-17:25 中ノ岳

17:30 中ノ岳避難小屋

(⇒歩行時間:??)

(つづく)

越後三山 その② [編集する](#)

2011年07月22日 02:07 [友人の友人まで公開](#)

8 view



《写真》待ってろよ、八海山!!

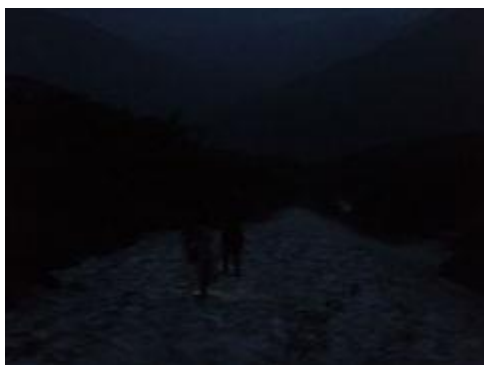
(→というわけで、これは御月山から見た八海山方面。写真中央の尾根を下って登る一日となりました。

(と、そんな一行で終わらせてしまうほど甘くはない一日でもありました……))

【7月17日(日)】

2:50 起床、3:35 出発。本日も長い行程なので、予定よりも1時間弱の早立ちを決めこむ。空には満月、遠方には浦佐の夜景が見えた。

ガレた下りの先には、長い雪渓となり、アイゼンを装着。みんなは4本の軽アイゼンを持ってきたが、おれは4本なぞ持っておらず、いつもの8本を装着。



この雪渓を下り始めたが、気付いた時には下りすぎてしまったようで、進むべき御月山から離れてしまった。



(→遠方に見えるのが御月山。本来は、山頂の左側の尾根から登るべきところだった。なので、登山道からも相当離れてしまったはず...!?)

御月山の方向はわかっていたので、藪コギしながらここを抜けだそうとしたが、そのまま歩いても、その先にいくつか谷を越える必要が出てくると判明。さらに藪の傾斜があり、みな滑り落ちてしまったり。。(→幸運にも、おれは8本のアイゼンに助けられ、滑落だけは免れました💡)

結局、もと来た雪渓まで引き返し、下ってきた雪渓を登り始めると、デイダラさんが、登山道を見つけてくれた。さらにデイダラさんは、



即座に赤テープをつけていた。赤テープを持ち歩いているところもすごいと思うし、敬服です。

それにしても、確かにここは、言われてみれば登山道で間違いないのだが、非常にわかりにくい。デイダラさんは、あまりに早立ちしすぎたことで、暗闇の中の登山道を見分けられず、道迷いの原因となったのではないかと分析。早立ちしすぎてもいけなかったのか...!?

というわけで、6時10分、登山道に軌道修正。登山道、ありがたし 結局、予定よりも1時間以上遅れてしまったが、ここから気を取り直して、再出発



朝露に濡れるこの花...、デイダラさんが珍しいと言っていたので撮影してみたが、この花の名前が思い出せない...

その後、朝食をとり、陽が上がってきたので、バンダナでマチコ巻き(ねずみ小僧!?)をしながら進み、無事に御月山に登頂。先ほど道迷いした場所も見下ろせたが、やはりあの場所からこの山頂に直線では来れず、戻って正解だったとわかる



(→御月山から眺めた、越後駒ヶ岳。)

さて次。御月山～五竜岳は、登山道自体は全体的には明瞭だが、



登山道がヤブになっていたたり、



ガレガレのガレ場を下ったり、



長〜い鎖場があったりと、

やはり、点線ルートだと思われます…。

そしてここから、本日は休憩のオンパレードだった。30分に1回は休憩!?

みな、暑さにやられてしまったのだ。。。🏠

正直、おれ自身も両腕がとにかく熱を持っていた。初めのうちは、出発前に塗った日焼け止めを信じていたが、それもだんだんどうでもよくなり、草木の朝露に両腕を濡らしたり、ペットボトルの水を両腕や首にかけたりしていた🤔 HEBAさんは、7月に2000m以下の山を歩くものではないともこぼしていた🤔

それでもどうにかして、オカメノヅキ(標高約1300m)と思われる辺りまで下ってきたが、ここに来て、カンカン照りの登山道。無風。となれば…。

ドーン💣

……。



この画像、一見、なんてことはない画像に見えますが、ここはある意味、思い出の場所!?

すれ違う登山客は皆無だろうと、登山道をふさいでの休憩。ただし登山道には日陰がないわけで、こうなったら恥も外聞もなく、草むらに頭を突っ込んで、休みましたとさ。(→ここでの休憩は、なんと1時間20分。)

そして暑い時には、あえて熱いものを飲もうと、お湯を沸かし、スープを飲む🍲 この方が身体に優しい!?



そして、再び、登るしかないので、登る。



まずは目指すは荒山、そして五竜!!

というのはもちろんなのだが、

(ちなみに五竜岳に無事に登頂すると、テントが張れるくらいのスペースがあり、ここで再び温かいコーヒーを飲み☕、ここに到着したら食べようとココロに決めていたフルーツインゼリーを食べましたが🍓、)

目指していたものはそれだけではなかった。むしろそれは、五竜岳の先に見え隠れしていた、



みんな大好き、せ・っ・け・い❤️

この雪渓のために歩いてきました、と言っても過言ではないはず💡❓

雪で首元や両腕を冷やし、顔を洗い、頭まで洗い、飴玉をなめながら雪をほうばってかき氷を食べた気分になり...、ああすっきりしたー!!🍓🍓🍓🍓🍓

さらに、

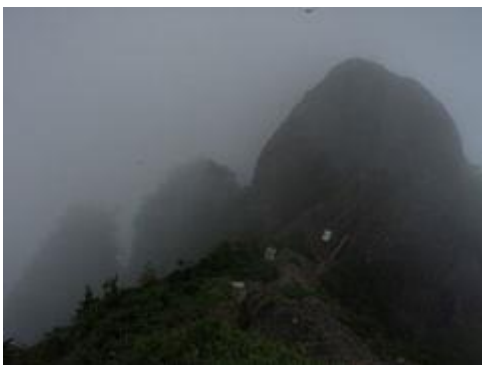


雪溪からさらに下ると水が流れており、デイダラさんがみんなの分の水を汲みに行ってくれました。ありがとうございます🙏

この辺りから、陽射しも弱まり、むしろ視界がだんだんとガスってきたが、なのに歩き始めると、すぐに身体が熱くなってくる。歩けないわけではないけれど、これが日射病の恐ろしさかと痛感する。

日頃から屋内で冷房を浴びながら生活しているやわなシティーボーイが、突然山に来てしまうには、トレーニング不足でしたね...👇👇👇

そして



八海山の縦走ルートと迂回ルートの分岐に到着。「この縦走ルートを歩かずして越後三山を歩いたとは言

えない」とデイダラさんから聞かされていたものの、



土砂崩れのため通行止め。。。😞

かなり体力を消耗していたので、少しホッとするような気もしつつ、やはり残念だったかな…。でも、ここは素直に迂回ルートへ GO!!

しかしこの迂回ルートもなかなかの曲者で、



100 段以上はあろう梯子や、

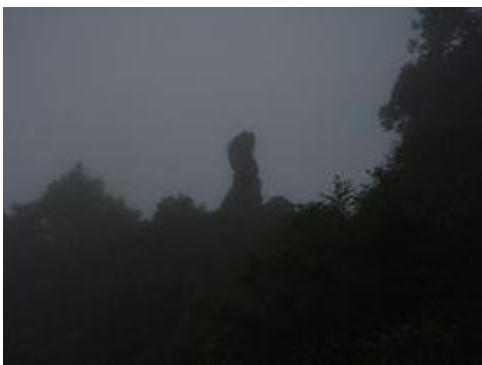


しつこい鎖場や、



足を踏み外せない崖っぷちルート等で、慎重に歩く。

でも途中で八海山を見上げたら、



こんな奇岩もあつたりね。

結局、分岐からかなり下った気がするが、ようやく本日の目的地、千本檜小屋に無事に到着できたのであります。



17:35 到着。お疲れ様でしたー。

また、小屋には通行止め情報アリ。



よくよく見ると、通行止めの場所は、先ほどの分岐から八海山の一つである大日岳の間だけであり、千本檜小屋から大日岳までは歩けるとのこと💡

(そして、この情報を見て、初めて八海山に8つの峰があることも勉強できました🤔)

【山小屋情報】

営業小屋と避難小屋があり。

(→我々は、避難小屋を貸切で使わせてもらう。

避難小屋利用者は、協力金として1人1000円支払うべき。)

水場は大倉方面への登山道を5分程度下ったところにある(湧水)。

トイレもややきれい(3つ星)。

難点は、この周辺、どうも虫が多い!?

(小屋内には蚊取り線香もあったが、全く役に立たない🦟)

【行動時間】

3:35 中ノ岳避難小屋

4:05 雪渓(アイゼン装着)

(しばらく道迷い)

6:00 登山道に軌道修正

6:20-6:45 休憩(朝食)

6:55 祓川水場

7:10-7:20 御月山

8:00-8:15 休憩

8:30?? 八合目

8:45-8:55 休憩

9:30-9:45 休憩

10:15-11:35 大休憩(お茶)

11:55 荒山偽ピーク

12:05 荒山

12:15-12:30 休憩

14:00-14:25 五竜岳(お茶)

14:30-15:15 休憩(雪渓!!)

15:50-16:05 休憩

16:10 入道岳

16:35 分岐

17:25-17:30 休憩

17:35 八海山避難小屋

(⇒歩行時間:??)

最後にしつこくもう1枚。不思議な色に染まった雲海と、それを撮る HEBA さんの背中。



(→19:15頃。やさしい色でした。)

つづく。

越後三山 その③ [編集する](#)

2011年07月23日 01:33 [友人の友人まで公開](#)

5 view



《写真》神々たちの山

【7月18日(月)】

この日は大倉へ下るだけの予定で、のんびり起きる。

千本檜小屋の朝は、



ある種特徴のある形をした、越後駒ヶ岳がくっきり!!

6:00、下山し始めようとしたけれど、昨日はガスでその距離感がよくわからなかった地藏岳(八海山の一つ)が、すぐそばにあることに気づく。これはもう登るしかないでしょう!! 📍

というわけで、縦走ルートに入ってほんの数分で登頂!! 🏆



地藏岳!! 🙏

ここはお地藏さんがたくさん!?

お地藏さんは他のいろいろな山で見かけたことがあるけれど(特に、鳳凰三山の地藏岳はインパクトありすぎ...)、山頂まで重たい石を運んでくる、これも深い信仰の表れだなと思います。はい 😊

地藏岳は八海山のいちばん端っこの一つにすぎないのだが、登頂して気づいたのは、すぐ隣に次のピークがあるではないですか!!

というわけで、ついでにお隣さんへ。



不動岳!! 🏔️🏔️

この先もまだ縦走路は続いているが、今回はここまで。二海山登頂、バンザ〜イ 🏔️

さて再び千本檜小屋に戻り、下山し始めようとしたときに登ってきたのが、トレイルランナー5人組。彼らはおれらが歩いた越後三山を逆ルートで1日で周回するつわもの達。たとえまだまだ先は長いとしても、朝5時から走り始め、標高差1500mを登ってきた彼らからは、全く疲れを感じさせない空気が漂っている。トレイルランナー、見ていて爽やか ✨

まあ、彼らは彼らで頑張ってもらおうとして、おれらはおれらで出発 🏔️

下山といっても、本格的な下山に入る前の最後のピークである薬師岳があり、昨年苦い思いをした巻機山が見えました 🏔️ 巻機山はもう勘弁してほしいけど、ほかの新潟の山は、まだまだ登りに来るぞー 🏔️

さて、千本檜小屋から四合半までは、ロープウェイにつながるルートにより、団体さんやら、山ガール&山ボーイらとすれ違う。昨日まではほとんど登山客とすれ違わなかったことがウソのよう!?

途中の女人堂(→昔は、女性が入れるのはここまでとされていたとのこと)は、



最近建て替えられたようで、まだ新築の香りもするし、きれい。しかも、



パイオトイレ完備。ここを知っていれば泊まりたかったと思いつつ、立地がいまいちなんだよね…。

ちなみに女人堂から山頂を振り返ると



こんな感じでした～。

その後、四合半の分岐点から、大倉方面への下山道に入ると、再び誰ともすれ違うこともなく、ただただ下るのみ。途中、お茶の時間を2回も持てたり、と個人的にはこういう時間が好きだったりします。



下山中。ブナはやはり癒しの女王!?

下山するにつれ、この山の信仰深さを感じる。山頂でもそうだったが、八海山大神、猿田彦大神、不動明王等、神様たちのオンパレード。日本が多神教でよかった!?

中には、こんなものも!!



八海山大神。暗闇の中、ヘッドランプを頼りに登ってきた登山客が、この岩を照らして、ギャーツ、と叫んだことがあるとか!?

この長いノルマ的な下りを終えた所にあるのが、



八海山神社。

そして、



この神社前にお店で、みんなジュース(ドール 100%)を飲んだが、実に、本当に、誠に(!!)美味しかった😊

なっちゃんの方がよかったなんていう HEBA さんの意見は即却下で、とにかくこのドール 100%は美味しかった。胃の中にスーッと吸い込まれるというか、胃とジュースが調和していくというか、そしてそれが全身にあっという間に行きわたっていくような...✨👆

さらに、とても愛嬌のある食堂のおばちゃんは、胡瓜の浅漬けまで用意してくれる。これもさっぱりでうまいっ!! ただの通りすがりの登山客に、ここまでして下さるおもてなし、ありがとうございましたっ!!😊

ラストは、この神社にザックを置き、沢沿いの道路、一路森林公園駐車場に向かって前進!! サイクリングロードとなっていたけれど、HEBA さんが、いちいち足の踏み場を気にせず歩ける道路って、何て楽チン何だろう、と。これには思わず同感。


そして沢には、水遊びしている子供たち(&大人 & 犬など)が多数おり、見るだけでも気持ち良かった。(実際飛び込みたかったー😅)

【行動時間】


6:05 八海山避難小屋

6:15-6:30 地藏岳
6:35-6:45 不動岳
6:55-7:00 八海山避難小屋
7:05-7:15 水場
7:20 薬師岳
8:00-8:15 女人堂
8:55 四合半
9:00-9:15 休憩
9:55 三合目(風穴)
10:00-10:25 休憩
10:50 二合目
11:15-11:40 八海山神社
12:35 森林公園駐車場

車に乗り、クーラーを浴びてしまうと、なんだか急に下界に引き戻されたことを実感する。さっきあれだけ美味しいと思ったドール 100%のありがたみが遠くに感じてしまう。もの悲しい。。

【温泉情報】石打ユングパルナス(¥900/人)

まあまあの広さあり。露天もあり。

内湯は、日射病持ちには熱すぎる温度でした...

それと水風呂、気持ちよかったー。

※ちなみにここ、仮眠施設もあり、冬はスキー客でにぎわうらしい。

今回は、とにかく久々の山行にもかかわらず、計画の時点で1日12時間以上歩く山行に参加表明してしまったことが、そもそもの反省!? (→ただし、この山を選ぶに至るまでに、いろいろとあったけど。。。)

大きなトレーニングもせずに臨んでしまった越後三山。身体がビクビクしていたのもわかる。基礎的な体力を試すしかなかったのだが、やはり落ちてはいるんだろうな。。。👇👇👇

日頃から、ファイト!?👊

そして、デイダラさんには、頼りすぎたくらい、お世話になりました。

今回、デイダラさんは顔を虫に刺され、目の周りが異常なまでに腫れ、熱を出していたようだが、それでも最後までペースよく歩き続けるデイダラさんには脱帽です😓 ありがとうございます👏👏 (→すなわち、醜態をさらけ出し続けた自分の未熟さを痛切に感じます。。。)

ふうー。

はい。

お疲れ様でした～。

